

行事予告

迎え火萬灯会

& 奉納コンサート

お盆の迎え火の日に当たる、来る八月十三日(土)午後五時半より、キャンドルの灯で先祖さまをお迎えする「迎え火萬灯会」(昨年度は迎え火キャンドルナイトとして実施)と奉納コンサートを開催いたします。ともしびの揺れる中、皆さまが心に思われている大切な方々、そしてこの度の震災でお亡くなりになった方々に想いを馳せ、心静かなひとときをすごしましょう。皆さまのご来場をお待ちしております。

【開催概要】

日時：平成二十三年八月十三日(土)

迎え火萬灯会ー午後五時半より七時半

奉納コンサートー午後六時より七時

会場：迎え火萬灯会ー本堂内・本堂前参道

奉納コンサートー本堂内

入場料：無料(キャンドルの献灯は有料)

献灯料：紙製・五百円/プラスチック製・千円

※販売は八月八日(月)より、当寺事務所にて行います。
※昨年・一昨年ご購入された方のうち、当寺にてお預かりしているものは、当寺にて献灯させていただきます。
お持ち帰りになった方は、当日会場までお持ち下さい。

出演：



木下ときわ (vo)



新美博允 (g)

シャンソン、フォルクローレなどを日本語詞にした曲などをレパートリーに持つお二人による、アコースティックな演奏会です。
※詳細プロフィールは当寺 HP にて。

☆運営ボランティア募集!

当日の午後、キャンドルの準備・片づけ、コンサートの運営などをお手伝いいただける方を募集します。「お名前」「ご連絡先(電話番号・電子メールアドレス)」を、以下までご連絡ください(前日まで)。多くの方々のご協力をお待ちしています!
Fax・0175-34-6426 電子メール・info@daijani.jp



キャンドルホルダーには、メッセージをご記入いただけます。
※会場にカラーペンをご用意します。



奉納コンサートが終わる頃、境内はキャンドルのあたたかな灯で包まれます。
写真：柴田麻希さん

坐禅会・写経会のご案内(六月〜八月)

◆ 暁天坐禅(予約不要)

一日のはじまり。自らの心をリフレッシュしませんか?
日時：六月十一日(土)・七月九日(土)
午前七時〜八時

※坐禅指導希望の方は、午前六時三十分集合

場所：当寺本堂 参加費：無料

服装：動きやすい服装で。スカート不可。

◆ 親子坐禅会(要予約)

夏休み、お寺の生活を親子で体験してみませんか?
日時：八月十五日(月) 午前七時〜八時半

場所：当寺本堂 内容：坐禅とおつとめくお掃除くお茶
服装：動きやすい服装で。スカート不可。参加費：無料
備考：成人の方のみでも参加可能です。

※前日まで、「お名前」「人数」をご連絡下さい。

電話：0175-34-2926 Fax：0175-34-6426

電子メール：info@daijani.jp

◆ 写経会(予約不要)

墨とお香の香りの中、祈りのときを過ごしませんか?
日時：六月五日(日)・七月三日(日)・八月六日(土)

午後一時〜三時三十分

内容：写経(般若心経・観音経等)く茶話会(参加自由)

場所：当寺中広間(変更の可能性あり)

持ち物：特に必要ありませんが、使い慣れた筆・硯・墨

参加費：五百円

お知らせ

◆「とうろう流し」(大安寺保勝会主催分)休止のお知らせ

長年に渡り、大畑町のお盆の風物詩として愛されてきました「とうろう流し」ですが、諸般の事情により、今年度より休止させていただきますこととなりました。雨の日も、風の日も、この行事を守り、育てて下さいました大安寺保勝会の皆さまにあらためて感謝申し上げます。また、楽しみにして下さっていた檀信徒の皆さまに、この場を借りてお詫び申し上げます。なお、当町の他のお寺を菩提寺にお持ちの方は、今年度の他寺院実施分の有無や詳細につきましては、直接、菩提寺にお問い合わせください。
※当寺では「とうろう流し用とうろう」の販売はいたしません。あらかじめご了承下さい。

行事カレンダー(平成二十三年八月〜九月)

■八月十三日(土) 午後五時半より 本堂・本堂前参道にて「迎え火萬灯会&奉納コンサート」

■八月十五日(月) 午後三時〜五時

「トークサロン・緑カフェ@大安寺 第二回」

※詳細は七月上旬より、ホームページ・携帯サイトにてお知らせします。

■八月十六日(日) 午前十一時より 本堂にて

「盂蘭盆会施食会法要」

有縁・無縁のありとあらゆる精霊に食を施す法要です。

■九月二十一日(秋分の日) 午前十一時より 本堂にて

「秋季彼岸会法要」

ご先祖さまに感謝し、自らの行いを見つめ直す期間であるお彼岸の中日に行う法要です。

編集後記

沢山の方々にご来場・ご協力いただいた「大安寺花まつり」。チャリティ寄席では、子供たちからお年寄りまで、会場がひとつになって笑顔の輪に包まれたのを見、目頭が熱くなりました。また、桜が散り、境内の木々や草花が一斉に萌え出づるのを見、自然の力強さに感激しました。本当に沢山の力をいただいた、五月でした。
(編集担当…長岡俊成)

次号のご案内

第十一号は平成二十三年八月十二日に発行予定です。